

A CITY OF SADNESS

悲情城市



1989年
ヴェネチア国際映画祭
金獅子賞グランプリ受賞
ニッポン映画祭最優秀監督賞・主演男優賞受賞
89年金馬獎最優秀監督賞・主演男優賞受賞

こんなにも美しい愛があった
こんなにも激しい死があった
かなしみが心を撃つ悲情城市
全世界で感動を呼ぶ
現代台湾史の壮大な叙事詩！

ひじょうひじょうし

89年度キネマ旬報賞外国映画監督賞の
侯孝賢(ホウシャオシェン)
監督作品

主演 トニー・レオン、李天禄、
陳松勇、高捷、脚本 呉念真、朱天文、
楊青矗、陳懷恩、美術 劉志華、林榮文、
録音 杜篤之、楊靜安、編集 廖慶松、
音楽 フロアレス、立川直樹、張弘毅、作
曲 蔡琴、S.E.N.S.、音楽製作 フランカス
・インターナショナル・コーポレーション、
呉、後期製作協力 ひあ、制作 張華坤、
企画 啓宏志、監製 楊登魁、製作
邱復生、制作 侯孝賢電影社、製作
年代影視其美股份有限公司、映映映画
カラー © CROWN INTERNATIONAL LTD. 1989



フランス映画社ハウシリウス作品
ぴあPFFレゼン共同配給



PFF PRESENTS





1989年ヴェネチア国際映画祭
金獅子賞グランプリ受賞

悲情城市

フランス映画社配給
(バウ・シリーズ作品) BOW
ぴあ(PFF)プレゼンツ作品
共同配給 PFF PRESENTS

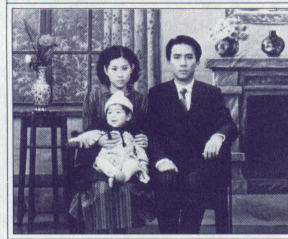
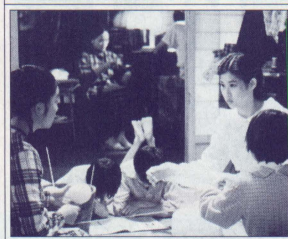
侯孝賢「ホウ・シャオシエン」監督作品

A CITY OF SADNESS

ひじょう じょうし

1945年8月15日。無条件降伏を告げる天皇の玉音放送が流れたその日、林家の長男、文雄の男子が誕生した。停電の最中、電灯がついた時に生まれた子であり、祖国復帰の喜びをこめて、光明と命名された。

林家の主、阿祿は75才。4人の息子がいるが、次男は日本軍に徴用されて南洋から帰らず、三男は上海から生還したものの精神錯乱の状態。幼い頃の事故で耳が聞こえぬ四男の文清は写真館を開いている。文清と同居する教師、呉寛榮とその仲間が理想の実現に情熱を燃やし、寛榮の妹の寛美と文清の恋が美しく咲いていく。しかし祖国復帰の喜びも東の国、大陸から来た「外省人」と台湾の「本省人」の対立が、47年、「二・二八事件」となって台湾を歴史的な悲劇にまきこんでいく。



「侯孝賢（ホウ・シャオシエン）監督の『悲情城市』が89年ヴェネチア映画祭グランプリ金獅子賞受賞。『これまでに大映映画祭でコンペ部門に出品されたことのない台湾映画の、しかし、『風櫃から来た人』（83）『冬冬トントンの夏休み』（84）『童年往事』時の流れ（85）『恋恋風塵れんれんふうじん』（87）『ナイルの娘』（87）と1作ごとに評価を高めてきた監督の作品であれば当然の、この快挙の報が熱烈賛辞とともに世界を駆けめぐった。

■偉大な作風が作品を重々しいものにせず、豊かかつ簡潔なものにした。人が6時間かけて語る内容をホウ・シャオシエンは3時間でやってのける。イタリア（パエゼ・セーラ紙）■『小津風のゴッドファーザー』。グランプリ受賞を十分に納得させる。物語の細部と

人物に深みがあり、非のうちどころのない壮麗な家族の物語。アメリカ（ヴァラエティ紙）■『映像のすばらしい造形美、俳優の生き生きとした演技……。力強い、物語の厳しき叙事詩的な気宇に胸をうたれる。』フランス（ル・モンド紙）■『ある大家族の運命をホウ監督は、台湾の運命に反射された多面的なリズムで映し出す。日常生活の描写が、抽象的な政治を映し出している。』ドイツ（フランクフルター・アルゲマイネ紙）。

舞台は45年の日本敗戦と撤退による解放から、蒋介石が国民党政府を選都する49年までの激動の台湾。北部最大の港町・基隆（キールン）で酒家を営む75才の林阿祿（リン・アル）と4人の息子達の家族の物語が展開し

ていく。原題の『悲情』はこみあげる深い悲しみ。『城市』は街の意味で基隆をさすが、この映画では台湾そのものだ。

侯監督の作品では、物語的な説明は極度に排除される。しかし、ひとつの映像、ひとつの動き、ひとつのシーンに残り、感動はいっそう深い。監督は語る――『編集は、細部にこだわらず、シーンとシーンを大きくつないでいきます。流れるようなつながりではなく、シーンの息吹きががたがたしていくように。映画のテーマは、映画全篇の息吹きにほかならないのですから。』まさしくこの言葉の通り、幾つもの胸打つシーン、何気ない日常的なシーンの息吹きが渾然となって、2時間39分、いつときとして緊張感のときれることのない、豊かで力強い傑作だ。

【スタッフ】

監督＝侯 孝賢（ホウ・シャオシエン）／脚本＝呉 念真（ウー・ニエンジェン）、朱 天文（ジュ・ティエンウェン）／撮影＝陳 懷恩（チェン・ホアイエン）／音楽プロデュース＝立川直樹、張 弘毅（ジャン・ホンイー）／作曲演奏＝SENS／歌曲作曲＝蔡 振南（ツァイ・ジェンナン）／編集＝廖 慶松（リャオ・チンソン）／インターナショナル・コーディネーション＝舒 琪（シュウ・ケイ）／音楽製作＝ファン・ハウス／後期製作協力＝ぴあ／制作＝張 華坤（ジャン・ホアクン）／企画＝詹 宏志（チャン・ホンジー）／監製＝楊 登魁（ヤン・タンクエイ）／製作＝邱 復生（チウ・フーシェン）

【キャスト】

林（リン）阿祿（アル）＝李 天祿（リー・ティエンルー）／長男・文雄（ウンヨン）＝陳 松勇（チェン・ソンヨン）／三男・文良（ア良、アリオン）＝高 捷（カオ・ジエ）／四男・文清（ウンセイ）＝梁 朝偉（トニー・レオン）／呉 寛美（ヒロミ）＝辛 樹芬（シン・シューフン）／その兄・寛榮（ヒロエ）＝呉 義芳（ウー・イーファン）／文雄の正妻・美黛（ミオ）＝陳 淑芳（チェン・シューフアン）／娘・阿雪（アスア）＝黃 倩如（ホアン・チンルー）／阿嘉（アカ）＝張 嘉年（ケニー・チャン）／小川静子＝中村育代

台湾映画／1989年 年代影視事業股份有限公司（ERA INTERNATIONAL LTD.）製作／侯孝賢電影社（3-H FILMS LTD.）制作／イーストマンカラー／1×1.85／全12巻、2時間39分（4,347m）／日本語字幕 田村志津枝 ©ERA INTERNATIONAL LTD. 1989 ●配給お問い合わせ＝フランス映画社（03）545-3411

4月28日(土)よりGW
ロードショー

特別鑑賞券1300円好評発売中
(当日一般1600円のところ)

日比谷・東宝映画街
シナンテシネ2
03(591)1511

●上映時間
(土・日・祝のみ10:00) 12:50 3:55 7:00

「悲情城市」ヴェネチア国際映画祭
グランプリ受賞記念
〈侯 孝賢映画祭〉

侯孝賢監督の傑作、話題作を一挙紹介する一週間。
●4/14(土)～20(金) ●渋谷バルコ・スペース・バート3
お問合わせ 03(265)1425 ぴあ(株)PFF事務局